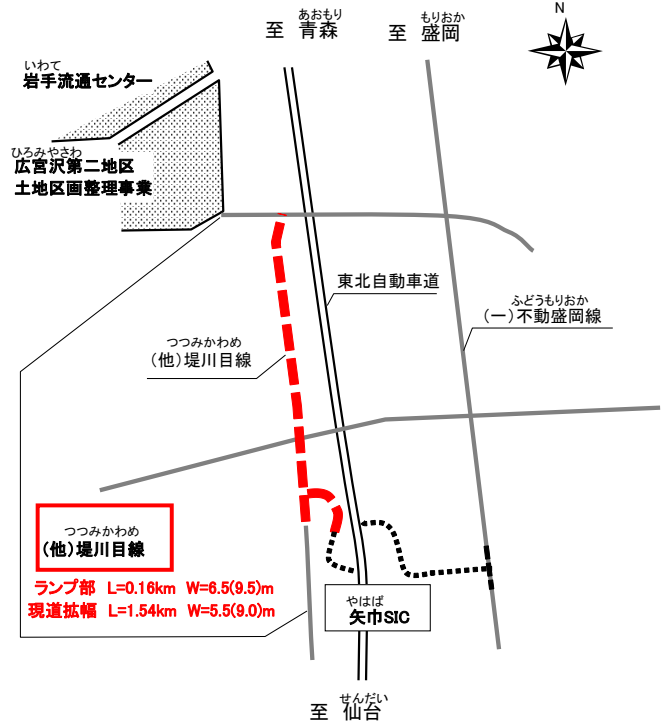
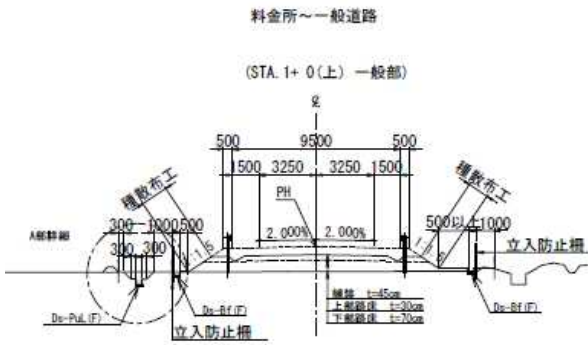


再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：環境・安全課

担当課長名：森山 誠二

事業名 <small>つつみかわめ</small> 町道堤川目線 <small>やはば</small> 矢巾SIC工区	事業 区分 <small>その他町道</small>	事業 主体 <small>矢巾町</small>			
起終点 <small>やはばちよう</small> 自：岩手県矢巾町 大字煙山 <small>けむやま</small> 至： <small>やはばちよう</small> 岩手県矢巾町 大字広宮 沢 <small>ひろみやさわ</small>		延長 1.7 km			
事業概要 町道堤川目線は、矢巾スマートインターチェンジに直結する重要なアクセス道路である。本路線は、矢巾SICから岩手医科大学附属病院岩手県高度救命救急センターへのアクセス及び物流拠点である岩手流通センターへのアクセス道路であり、居住者・来訪者の利便性向上、物流の効率化による地域産業の活性化、救急医療機関へのアクセス性向上を目的とし、延長約1.7kmを整備するものである。					
H25年度事業化	H25年度連結許可	H27年度用地着手			
全体事業費	約12億円	事業進捗率	約20%	供用済延長	— km
計画交通量	2,119台/日				
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体) 4.2 (残事業) 4.7	総費用： (残事業)/(事業全体) 15/17億円 (事業費：9/11億円) (維持管理費：6/6億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 70/70億円 (走行時間短縮便益：53/53億円) (走行経費減少便益：13/13億円) (交通事故減少便益：4/4億円)	基準年： 平成28年	
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=3.8~4.6(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.3~5.2(交通量±10%) 事業費：B/C=3.9~4.5(事業費±10%) 事業費：B/C=4.5~5.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=4.0~4.3(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.6~4.9(事業期間±20%)					
事業の効果等 ①居住者・来訪者の利便性向上 市街地からインターチェンジへの所要時間短縮による居住者や来訪者の利便性向上 ②物流の効率化による地域産業の活性化 岩手流通センターから南方向への高速アクセス性の向上により、物流の効率化や企業誘致の促進など地域産業の活性化 ③救急医療機関へのアクセス性向上 「岩手県高度救命救急センター」（岩手医科大学附属病院）が矢巾町に移転・開院することから、県内市町村間の救急医療における搬送時間短縮や外来患者も含めた医療関係者の利便性向上					
関係する地方公共団体等の意見 ・「盛岡広域都市圏道路網基本計画」（H26.7策定）の主要事業に位置づけられている。					
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）のとおり事業継続が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺環境に変化等は見られない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約55%、事業進捗率約20%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業の進捗に係る問題はない。平成29年度開通予定。					
施設の構造や工法の変更等 ・路体盛土として国土交通省復興道路の残土を再利用していることと、技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。					
対応方針 事業継続					
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					
事業概要図					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。